

入院のみ 外来のみ ○共通	適応がん種	レジメン名(略語)	臨床使用分類	抗癌剤適応分類	1コース期間
	大腸癌	XELOX + BV	○日常診療	術前化学療法	3週間
			臨床試験承認済・審議中	術後補助療法	
			治験承認済・審議中	○進行・再発	予定総コース
		その他()		可能な限り	

☆上記のうち該当箇所○を付けてください

処方No	薬品名(商品名)、溶解液の種類と量	1回投与量	投与時間又は用法	投与日(d1,8など)	投与経路
1	5%ブドウ糖液	250mL	165分	d1	点滴(主)
2	Dex	3A			
	ボラミン	1A			
	グラニセトロン	1mg	15分	d1	点滴(側)
3	アバスチン	7.5mg/kg			
	生理食塩液	100mL	30分	d1	点滴(側)
4	オキサリプラチン	130mg/m ²			
	5%ブドウ糖液	250mL	120分	d1	点滴(側)
5	ゼローダ	2000mg/m ²	分2	d1(晩)~d15(朝)	経口

留意点および急性期有害事象等	<投与基準> WBC>2000/L, Neutro>1,000/L, Hb>7.0 g/dL, PLT>100,000/L; T-Bil ≤施設基準値上限、ALT and AST ≤施設基準値上限の5倍; ALP ≤2.5 施設基準値上限の2.5倍; 血清クレアチニン ≤2.0mg/dL, PS ≤2
	<減量基準> ※一旦減量した後は増量を行わないこと 【ゼローダ】 Ccr < 30mL/min → 投与中止 手足症候群 G2 → G1以下になるまで休薬。回復後同量で再開 G2 2回目、G3以上 → G1以下になるまで休薬。回復後は1段階減量して再開 G2 3回目 → G1以下になるまで休薬。回復後は2段階減量して再開 【L-OHP】 Ccr > 20mL/mLでは100%Dose (NCI Organ Dysfunction Working Group)
	<その他注意> <BV> ・*1: 初回投与時間は 90 分、2回目 60 分、3 回目以降は 30 分とする。 ・大手術後 28 日以内に本剤を投与したデータはないため、十分な間隔をもつこと。 ・投与回数増加に伴い高血圧が発現する傾向がある。降圧薬は高血圧治療ガイドライン等に準じるが、現時点で厳密な優先順位はない

参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・Jim Cassidy et al. Randomized Phase III Study of Capecitabine Plus Oxaliplatin Compared With Fluorouracil/Folinic Acid Plus Oxaliplatin as First-Line Therapy for Metastatic Colorectal Cancer. J Clin Oncol, 26 (12), 2006-12 2008 Apr 20. ・Leonard B Saltz et al. Bevacizumab in Combination With Oxaliplatin-Based Chemotherapy as First-Line Therapy in Metastatic Colorectal Cancer: A Randomized Phase III Study. J Clin Oncol, 26 (12), 2013-9 2008 Apr 20
------	---

夜間、帰宅時、対応医師への連絡先	外来診療中: 消化器外科外来(3058) 夜間・休診日: 当直医(8219)
------------------	--